

# 米国財務会計基準審議会（FASB） との第 29 回定期協議の概要

ASBJ 専門研究員 てづか ふみひと  
手塚 史

## 1. はじめに

2021年3月29日及び30日の2日間、企業会計基準委員会（ASBJ）は、米国財務会計基準審議会（FASB）との間で、第29回定期協議をウェブ会議の形式で実施した。ASBJからは小賀坂委員長、川西副委員長のほかスタッフが参加した。FASBからは、Richard R. Jones 議長、Christine A. Botosan 理事、Hillary H. Salo テクニカル・ディレクターのほか、セッションに応じて James L. Kroeker 副議長、Gary R. Buesser 理事、Susan M. Cosper 理事及び担当スタッフが参加した。

## 2. 全体のスケジュール

日時	議題
初日	近況報告
	概念フレームワーク（構成要素）
	財務諸表外で提供される情報に関する基準の開発
	リース
	持分法会計

2日目	暗号資産及び現金の定義
	のれん
	金融商品
	料金規制対象活動
	期中財務報告

## 3. 議事概要

### (1) 近況報告

FASB 及び ASBJ の代表者の双方より近況報告がなされ、意見交換が行われた。

FASB の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- アジェンダ・コンサルテーション
- 信用損失、リース及び収益認識に関する基準の適用後レビュー
- 直近及び今後の FASB の開発活動

ASBJ の代表者からは、次の項目を中心に報告と議論がなされた。

- 日本における米国基準及び IFRS 基準の適用状況
- COVID-19 への対応
- 現在の日本基準の開発アジェンダ
- 国際活動

**(2) 概念フレームワーク（構成要素）**

FASBが2020年7月16日に公表した公開草案「財務会計概念書第8号『財務報告に関する概念フレームワーク』—第4章『財務諸表の構成要素』」に関連して、ASBJの代表者より、貸借対照表の貸方の区分に関するASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

**(3) 財務諸表外で提供される情報に関する基準の開発**

ASBJの代表者より、会計基準設定主体が、財務諸表外で提供される情報に関する基準を開発すべきかどうか、また、開発する場合にはどのような方法をとるべきかについて、ASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

**(4) リース**

ASBJの代表者より、リースについて、以下の論点に関するASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

- リース基準における支配の考え方
- セール・アンド・リースバック取引の会計処理
- パス・スルー型サブリースにおける中間の貸手の会計処理

**(5) 持分法会計**

ASBJの代表者より、持分法会計を一行連結、測定技法又は2つのアプローチの折衷のいずれと捉えるべきかについて、ASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

**(6) 暗号資産及び現金の定義**

ASBJの代表者より、一部の法域で電子的な決済手段として用いることを目的とした暗号資産の開発検討の動きが見られることに関連して、会計上の現金の定義に関するASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

**(7) のれん**

ASBJの代表者より、のれんの償却を再導入することとした場合の償却期間、償却及び減損の会計処理の単位について、ASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

**(8) 金融商品**

ASBJの代表者より、金融商品について、以下の論点に関するASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 未使用のローン・コミットメントに係る信用損失の測定
- マクロ・ヘッジの取扱い

**(9) 料金規制対象活動**

ASBJの代表者より、料金規制対象活動について、米国基準の会計モデルと国際会計基準審議会（IASB）が2021年1月28日に公表した公開草案「規制資産及び規制負債」で提案している会計モデルについて、ASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

**(10) 期中財務報告**

ASBJの代表者より、期中財務報告について、以下の論点に関するASBJスタッフの考察が示され、議論が行われた。

- 期中財務報告の注記の役割
- キャッチ・オール原則に加えて最低限の開示の要求事項に関する考えられる判断規準
- 期中財務報告の開示の方向性
- 期中財務報告の報告頻度と会計基準の要求事項の関係

**4. 次回の予定**

今回の定期協議は、2021年の後半に開催することが予定されている。